



第1300号
No.36
2026年5月26日



2025-26年度 国際ロータリーのテーマ
UNITE FOR GOOD
「よいことのために手を取りあおう」
RI会長 フランチェスコ・アレツォ

2025-26年度 東京恵比寿ロータリークラブのテーマ
「五感でロータリーを楽しもう」
Let's enjoy Rotary with all your senses
会長 徳江 陽子

5.26 本日のプログラム

クラブ協議会 (第2回)

今後のプログラム

- 6月2日 イニシエーションスピーチ
本地 晶子 会員 野々宮 憲彦 会員
@ ウェスティンホテル東京 桜
- 6月9日 卓話
米山記念奨学生 グエン・ブハ・アインさん
@ ウェスティンホテル東京 桜
- 6月16日 休会 (6/13~17台湾国際大会)
- 6月23日 ゲストウェルカムデー 卓話
東京恵比寿RC 会員 山東 昭子さん
@ ザ テンダーハウス(ブエノスコート)

例会出席者数

5月19日 第1342回例会

ゲスト Guest	塚本 こなみさん (ゲストスピーカー)
	大塚 華世さん
	田辺 英之さん
ビジター Visitor	三寫 太郎さん (京都RC)
	宮本 理城さん (東京西RC)
奨学生 Student	グエン・ブハ・アインさん (米山記念奨学生)
出席報告	ゲスト・招待 3名
	国内ビジター 2名
	米山記念奨学生 1名
	出席者数 55名

親睦旅行が開催されました

親睦活動委員会 委員長 安藤 邦子 さん
職業奉仕委員会 委員長 佐竹 律香 さん

5月15日、16日と親睦活動委員会、職業奉仕委員会合同企画の親睦旅行が開催されました。快晴の天候に恵まれ名古屋・岐阜方面の名所めぐりをしてきました。熱田神宮(正式参拝)⇒あつた蓬莱軒⇒名古屋城⇒鵜飼い船見学乗船⇒長良川温泉泊⇒犬山城⇒奥村邸(重要文化財)でランチ⇒明治村と盛りだくさんの二日間に合計21名が参加しました。ご参加の皆様ありがとうございました。



卓

話

5.19.tue

THE ROTARY CLUB OF TOKYO EBISU

感動分岐点を超える園作り ～感動をお渡しするために～

31年前、静岡県浜松市に住んでおります私のところに、栃木県足利市内の方から電話がありまして、大藤の移植のご依頼をいただきました。そこから植栽デザインを任せられ、さらには園長として21年半足利に通わせていただきました。その間「お客様に美しい花を見ていただき、感動をお渡しするとはどういうことなのか」を学ばせていただきました。そんな話を皆さんに少しさせていたいただきたいと思います。

電話で伺ったのは「園内にある4本の大きな藤の移植を頼める人を4年間探し回ったが、誰にも引き受けてもらえない」とのこと。お話しぶりから藁(わら)にもすがる気持ちが伝わってきました。好奇心の旺盛な私はとにかく現場へ見に行きました。すると電話で聞いた通りの立派な藤があったんです。いろいろ調べるにつれて、誰も引き受けない理由が分かってきました。藤は幹に少しでも傷がつくと腐ってしまうほど繊細なのです。当時の私は巨木や古木の移植、樹木や緑地の育成管理の経験は10年以上ありましたが、藤は育てたことも移植したこともありません。でも内に秘めた生命力を感じて「この藤は動く」と直感しました。それが後に「あしかがフラワーパーク」のシンボルになる藤との出会いでした。当時樹齢130年。直径約1メートル、重さ約10トン、根は50メートルもありました。これをどうやって運ばばいいのか。文献を読みあさりしましたが、書かれた時代が違いすぎて確信が持てません。これは独自のやり方を見つけるほかありません。やがて「藤の命も人の命と同じ」と気づきました。それで幹を傷つけないように人間用の石膏包帯(ギプス)をぐるぐると巻いて重さに耐えられる強度をつくり、その上にベルトを掛けて慎重にクレーンで吊り上げたんです。警備員も含めて延べ2000人を統率して、4本の大藤を移植することができました。こうしてオープンしたフラワーパークでしたが、2～3年は経営に苦しみました。園長就任のご依頼をいただきました。自分が設計した園の経営が成り立たないのは、私の責任でもあります。そんな思いもあって、大役を引き受けました。すると幸いなことに入園者数が一気に増えたのです。理由は私の手腕云々ではありません。園内に植えられた藤が、美しく咲き始めたからです。数年後、1本の藤から300坪の棚に花が咲くまでになり

ました。ライトアップすると幻想的な風景が広がります。やがて日本だけでなく、世界中からお客様が見に来てくださるようになり、コロナ前の入園者は163万人を数えました。

2015年5月のこと、入園されたお客様が「生きていてよかった。こんなにきれいな藤の花を見ることができて」と話すのを耳にしました。どちらからお越しになったのかとお聞きすると、南相馬とおっしゃったんです。ハッとしました。私たちが想像できないほどの地震や原発事故、さまざまなご苦労を経験された方々が藤を眺めて「生きていてよかった」とおっしゃっていたのです。その言葉に樹木医冥利に尽きると涙がこぼれました。やがて私はいろんな植物園から再生のご依頼をいただくようになるのですが、そのつど思ったのはお客様が感動するかしらないか、その分岐点を越えないとフラワーパークの経営は成り立たないということです。ちなみに「感動分岐点」という言葉は私の造語です。来園された皆様にお花を通して感動をお渡しする。あの日の南相馬のお客様との出会いから、感動する場面を作ることを強く意識するようになりました。



それから月日が流れ、私は2013年4月から浜名湖畔にある「はままつフラワーパーク」の運営責任者、理事長を務めています。聞けば10数年間赤字続き。私も65歳前後になり、年間360日働く日々、一度はお断りしたんです。しかし地元浜松に恩返しをしたい、人生最後の仕事としてこれまでの経験を生かそうと思い直し、お引き受けしました。総面積は30万平米。当初「日本一美しい桜とチューリップの庭園」というキャッチフレーズを付けていたのですが、



公益財団法人
浜松市花みどり振興財団 理事長

つかもと

塚本 こなみ さん

2年目からは「世界一」に改めました。そちらのほうがインハウンドのお客様に引っかけかかなとの思いからです。まずは梅しかなかった梅園に魅力を加えようと思って、華やかなラッパ水仙を植えました。400メートル続く日本庭園にはチューリップを50万球植えました。桜があって、チューリップがあって、水景もきれい。私はオランダにある世界最大の花の公園「キューケンホフガーデン」より美しくしようと



意気込みました。気になったのが芝生です。お客様はお花を見てきれいと言ってくださいますが、「芝生がきれい」とは言ってくれません。日本の高麗芝がきれいになるのは4月後半から。でも西洋芝をオーバーシードすれば、1月でも2月でも緑です。そこで毎年芝の種をまいて水をかけました。お客様の気付かないところで、芝に桜やチューリップを美しく引き立てる黒子の役をやらせてもらっています。「そこまでやるの?」というくらいやって初めて本当の感動を皆様にお渡しできると思っています。こちらのフラワーパークには芝生広場があって、梅があって、桜、チューリップ、バラ、ショウブ、アジサイはあったのですが、美しいガーデンがありませんでした。そこでお客様が散策される時に笑顔が溢れる庭を作ろうと思い、「スマイルガーデン」という名前の庭を作りました。また私が理事長になるまで藤が1本も植わっていませんでした。藤は私、塚本こなみのトレードマークです。そこで藤をいっぱい植えました。150メートルの小径の両側には1万3千株を超える草花が次々と咲きます。進むにつれて景色が変わり、春から初夏にかけて植物の成長とともに立体的な表情が楽しめます。広さ3000平米のバラ園もあります。ローズガー



デンというところも花はバラだけです。それには理由があって、バラの足元に他の花を植えると風通しが悪くなってバラが病気になりやすくなると言われていたからです。でも今は違います。他の花を足元に植えて魅力を増す手法になっています。「はままつフラワーパーク」は2020年に開園50周年記念を迎えました。その時にこれからのフラワーパークは何を目指すべきかと考えて、「ガーデンミュージアム」というアイデアが浮かびました。これは屋外にアートを展示したり、皆様に多様な使い方楽しんでいただくものです。現在もイギリス人の陶芸家の備前焼が展示されています。



私が理事長を引き受けるにあたって一番やりたかったのが、園内に不登校の子どもさんが通う教室を設け、「花育」の授業を通して心を整えてもらうことでした。最初の年から部屋を用意しました。その上で市役所に「登校拒否の子どもさんが通う教室を作ってもらえませんか。お部屋はもう用意しました。あとは先生が来てくださるだけです」と申し上げました。でも1年待っても、2年待っても作っていただけません。開校できたのは5年目のことです。子どもたちは最初顔を下に向けて通ってききましたが、1週間、2週間、1カ月経つうちに笑顔になりました。子どもさんは竹林でタケノコ掘りや梅園の梅の実を取ってジュースを作ったり。それぞれがマイプランターを持ち、自分で花を植えて水をやり、花がらを摘んでもらいました。そしてきれいに咲くと、お客様がお見えになるところに展示しました。「きれい」と言ってくださることが、子どもさんたちの達成感につながりました。終了式に私が「一番楽しかったお話をしてください」と言うと、「花育の時間が一番楽しかった」。そして帰りに私のところへ来て「将来大人になったら、フラワーパークに働きたい?」と言ってくれる子もいて、私は「いいよ。待っているね」と返した事もありました。

植物学者ではない私にできることは、来園されたお客様がお花を見た瞬間、豊かな気持ちや幸せを感じていただくことです。花を楽しむのは、周りが幸せであるからだと思います。数日前のことですが、アメリカの映画監督が私を取材にお見えになりました。「塚本さんはなぜお花の仕事をしているのですか」と尋ねられたので、「私は花を楽しむという豊かな時間を皆様にお渡ししたいのです。戦争がないからこそお花を楽しむことができます。その空間を作りたいと思っています」と申しますと「僕たちはアメリカ人としてとても悲しい」と一言おっしゃいました。その言葉が何を意味するかは察して余りあります。本当に早く紛争や戦争が終わって、世界の人が心からお花を楽しんでくださる日が来ることを心から願って、私の話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



ニコニコBOX



徳江 陽子さん

塚本こなみ様、本日の卓話とても楽しみにしてました。宜しくお願ひ致します。親睦活動委員会の皆様、とても有意義な親睦旅行でした。有難うございました。17日の東麻布「富麗華」での「ピアノ演奏とお食事会」にお越し下さった方々、有難うございました。

川邊 紀恵さん

昨日、東京渋谷RC25周年記念式典に拡大補佐として参加しました。子クラブとして立派に成長したことをうれしく思いました。

佐竹 律香さん

本日は、京都ロータリークラブから三島太郎様ようこそいらしていただきました。

武田 博史さん

親睦旅行会、充実の熱田神宮、長良川鶉飼等の2日間でした。親睦活動の安藤委員長、黄副委員長、職業奉仕の佐竹委員長、葉田副委員長、大変お世話になり有難うございました。集合の名古屋駅から解散の名古屋駅まで呑み通しでした。スイマセン!!

深谷 理恵子さん

親睦旅行のひつまぶし大変美味でした!

五十嵐 容子さん

先月に股関節手術を行ひようやく社会復帰しました。又、元気に頑張れます。ニコニコ(^_^)

尾形 偉幸さん

能登復興支援ゴルフツアーの一環で「ザ・カントリークラブ・能登(神谷さんオーナー)」にてプレーしてきました。同行の友人がレーザー距離計を紛失しましたが、スタッフの努力で発見できました。友人からの寸志と私からゴルフ場全スタッフへの感謝を込めてニコニコです。まだまだ復興の最中でゴルフ場だけでなく道路でもいたる所で工事が継続していましたが、力強く立ち直りつつあることを感じました。

横町 俊智さん

本日は、東京恵比寿RCの例会に宮本理城様、大塚華世様、ご出席頂きありがとうございます。お楽しみ頂ければ幸いです。

鈴木 宏治さん

5月8日で88才米寿を迎えました。東京恵比寿ロータリーのおかげです。

本地 晶子さん

本日の塚本様の卓話を楽しみにしております。

滝川 聡さん

唐沢寿明さん主催の熊本復興クラシックカーラリーに参加して120台中8位入賞! うれしいです!

藤原 峰之さん

5/2で無事64歳になりました。後1年精一杯がんばります。ニコニコ!

鏡川 陽介さん

昨日に無事将太郎が帰国しました。10ヶ月間サポートと昨日のお迎えをありがとうございました。何が変わったのか? はお楽しみです。

安藤 邦子さん

5月15日、16日と、親睦旅行で熱田神宮、鶉飼、明治村と行って来ました。暑くて皆さんぐったりでした。

堀井 良造さん

少しずつ肩も良くなって少しニコニコ。

奥田 隆章さん

親睦旅行楽しかった。名古屋での昼食、蓬萊軒本店にてヘビー級一半ひつまぶし完食致しました。晩御飯は食べれませんでした。

	前回まで	1,697,420円
5月19日	16名	合計 144,000円
	年度合計	1,841,420円

本日もご協力いただきありがとうございました。

事務局より連絡

事務局メールアドレス

代表 office@ebisurc.org

飯澤 (月～金 10:00-17:00) office3@ebisurc.org

松川 (月・火・金 13:00-16:00) office2@ebisurc.org



5月のRILET 1ドル 160円

Rotary
東京恵比寿ロータリークラブ



事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-20-2-912

TEL 03-5420-6801 FAX 03-5420-6802 URL http://ebisurc.org

会長/徳江 陽子 幹事/横町 俊智 週報委員長/丸山 勝 副委員長/花房 幸範 委員/古川 孝藏
佐藤 康 妹尾 八郎 南谷 えり子 和田 勝美

例会日:毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 例会場:ウェスティンホテル東京